

全苗連だより

Vol. 81 (3月号)

令和3年3月23日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和2年度林業用種苗需給連絡協議会の概要

- ・ 苗木需要は6千万本割れの5千6百万本
- ・ 残苗が全国で発生 ～昨年度は豪雨災害等により一部地域で見られた苗木不足から一転、全国で残苗が発生～
- ・ コロナウイルス感染症対策のため、地区別協議会は大半が書面による開催実施

令和2年度の地区別林業用種苗需給連絡協議会は、コロナウイルス感染症対策の観点からこれまでとは様変わりの開催となりました。一堂に会しての開催は2地区で他の地区は書面による開催となりました。

九州地区は11月17日に宮崎市で、東海・北陸地区は11月19日に富山市で開催されましたが、それ以外は書面による開催となり、北海道・東北地区は北海道が主催し、関東地区は山梨県、近畿地区は兵庫県、中国地区は広島県、四国地区は徳島県がそれぞれ主催して行われ、3月17日までに終了したところです。

会議では、種子・穂木や山行苗木の移出・移入の可否並びに広範囲な需給調整のあり方、コンテナ苗生産の取組み状況、特定母樹・花粉症対策品種の生産見込み、優良苗木の安定供給に向けた生産体制支援対策及び担い手対策等についての国・都道府県への要望事項等を議題に情報交換や意見交換が行われました。

需給の動向について、第1表に地区別、第2表に樹種別の需給見通しを掲載しました。

第1表 地区別の山行苗木の需給見通し(令和3年3月18日現在)

(単位：千本)

地区	需給見通し (R2秋～R3春)			需給見通し (R3秋～R4春)		
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足
北海道	23,569	18,045	5,524	19,093	18,601	492
東北	9,898	8,527	1,371	9,672	9,083	589
関東	6,178	5,480	698	5,925	6,548	△ 623
中部	3,231	2,383	848	3,018	2,187	831
近畿中国	6,690	5,289	1,401	6,671	5,598	1,073
四国	2,267	1,983	284	2,198	2,348	△ 150
九州	16,319	14,144	2,175	16,736	14,516	2,220
計	68,155	55,851	12,303	63,316	58,881	4,435

第2表 樹種別の山行苗木の需給見通し(令和3年3月18日現在)

(単位:千本)

樹種		需給見通し(R2秋~R3春)			需給見通し(R3秋~R4春)		
		生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足
スギ	総数	26,654	24,614	2,041	28,159	26,299	1,860
	(うちコンテナ苗)	12,850	10,650	2,200	13,978	12,158	1,820
	うち花粉対策	10,834	11,254	△ 420	12,523	12,727	△ 204
	(うちコンテナ苗)	5,280	4,876	404	6,607	6,352	254
ヒノキ	総数	7,670	6,018	1,651	7,460	6,666	794
	(うちコンテナ苗)	3,093	2,260	833	3,187	2,732	455
カラマツ	総数	17,387	14,481	2,906	15,031	15,407	△ 376
	(うちコンテナ苗)	4,251	3,046	1,205	2,899	3,366	△ 467
クロマツ	総数	1,420	586	834	531	436	95
	(うちコンテナ苗)	906	264	642	165	173	△ 8
小計	総数	53,132	45,699	7,432	51,181	48,808	2,372
	(うちコンテナ苗)	21,100	16,219	4,881	20,228	18,429	1,800
その他	総数	15,023	10,152	4,871	12,135	10,073	2,062
	(うちコンテナ苗)	1,416	1,282	134	1,081	1,330	△ 248
計	総数	68,155	55,851	12,303	63,316	58,881	4,435
	(うちコンテナ苗)	22,516	17,501	5,015	21,309	19,758	1,551

なお、都道府県ごとの数値は、全苗連ホームページの会員向けページに掲載してありますのでそちらをご覧ください。

概況としては、一部花粉対策スギを除き苗木の余剰が全国的に発生しています。昨年度は豪雨災害等の影響で苗木不足が関東、四国、九州地区で発生しましたので、大きく様変わりすることとなりました。

令和2年度の苗木の生育については、全国的に概ね良好であったところですが、この苗木の余剰が発生した大きな原因としては、主伐の減少による新植予定面積の減少が主因と考えられています。

昨年の木材需給は、昨年春時点での原木の在庫過剰と価格の下落からスタートしたところですが、一転して、秋以降は需要が上向き局面を迎えました。しかしながら、原木供給にはタイムラグがあり地域によっては大雪の影響を受けるなど、様々な変化が起きている模様です。タイムラグの主因にはコロナ禍があります。コロナの影響による大型製材工場の値下げ要請、原木受入制限等により出荷先が不透明という状況が発生し、素材生産業者の中には、雇用の維持のために原木生産を伴わない保育間伐等の事業に振り替えざるを得なかったところであり、その転換のタイムラグで、現在、素材生産活動が完全には戻ってきていないということのようです。現在、原木不足という状況にあり主伐への要請が高まっていますが、今後の木材需要の動向には注意する必要があります。

各苗組におかれましては都道府県、森林管理局署、森林総合研究所森林整備センター、都道府県森連等との連携を密にして適切な対応をとるようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について

・「事業継続に関する基本的なガイドライン」等の情報は、全苗連HPにUPしてあります

「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」、「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」などの新型コロナウイルス感染症対策本部からの連絡事項等につきましては、情報がより次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしてありますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

R2.5.1～R3.3.31

令和2年度研修(苗木生産技術の向上等事業)【全苗連HP“研修予定表”参照】

3月4日 早生樹等優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術の向上等事業課題提案(林野庁)

3月17日 炭素貯留能力に優れた造林樹種の効率的育種プロジェクト会議(林野庁)(web)

3月26日 林業薬剤協会第2回理事会(学士会館)

4月7日 全苗連正副会長会議(全苗連事務所)

4月9日 令和2年度林業成長産業化総合対策事業報告(林野庁)

4月中旬 全国山林苗畑品評会第3次審査会(全苗連事務室)(調整中)

4月下旬 全苗連監査会(調整中)

5月7日(調整中) 全苗連理事会

5月21日 全苗連通常総会

9月2日～3日

第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)